

1 主題名 自分の仕事 C(12) 勤労，公共の精神

2 教材名 「ぼくのしごと」 東京書籍 新訂 あたらしいどうとく

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

C(12)「勤労，公共の精神」に関する内容項目は，低学年においては「働くことのよさを知り，みんなのために働くこと。」とされている。「働く」とは日々の糧を得ることだけでなく，生きがいをもって社会的責任を果たすことでもある。働くことのよさや大切さを知ったうえで働くことは，豊かな人生を送ることにつながることもある。自分たちが行った仕事はみんなの役に立つことのうれしさ，やりがい，そのことを通して自分の成長などを感じられるようにすることが大切である。そのことを踏まえ，家族やみんなの役に立つ喜びを感じ，家族やみんなのために進んで働こうとする心情を育てたいと考え，本主題を設定した。

(2) 児童の実態

本学級の児童は，小学校に入学して5ヶ月が経ち，学校生活にも慣れ，係活動や当番活動に意欲的に取り組む姿が見られる。色々な仕事に興味をもって，働くことを楽しく感じている児童が多いが，働くことのよさや大切さについての意識や，責任を果たすことへの自覚については，まだ高まっていないと考えられる。

(在籍 30名 実施 30名)

1 みんなのために働くことは好きですか。	好き 28名 あまり好きではない 2名 嫌い 0名
2 学級ではどんな仕事をしていますか。	係活動 15名 清掃活動 13名 給食当番 2名
3 学級の仕事をしているとき，どんなことを思いますか。	がんばろう 18名 楽しい 7名 気持ちいい 3名 大変だ 1名 面倒くさい 1名
4 家では，どんな仕事をしていますか	洗濯物たたみ 10名 食器の片付け 6名 風呂掃除 4名 食器洗い 4名 箸並べ 2名 ごみ捨て 2名 仕事を していない 2名
5 仕事をしてよかったと思うのは，どんなときですか	ほめられたとき 10名 「ありがとう」と言われたとき 4名 仕事をしているとき 3名 上手にできたとき 2名 思ったことはない 11名

事前調査から，学校の当番活動や係活動及び，家庭でのお手伝いを通して，働くことが好きだと感じる児童が多いことが分かった。また，働いているときに，みんなのために役立つことで，やりがいを感じていたり，働くことの楽しさを味わったりしている児童は半数以上になる。一方で，仕事が大変だとか面倒だと感じていたり，仕事をしてよかったと思ったことがなかったりしている児童も少なからずいる。その実態を生かして，自分たちが行った仕事が，みんなの役に立っていることを実感できるようにしていきたい。そして，みんなのために働くことを喜びにつなげ，やりがいや自分の成長を感じられるようにしたい。

(3) 教材について

本教材は，主人公のひろきが，母親からお風呂掃除を教えてもらって，一人でも上手にできるようになり，自分の仕事にするという話である。

仕事のこつをつかむことで自分の成長を感じたり，父親や母親に褒めてもらうことで家族の役に立つ喜びを感じたりするなど，家族の一員として働くことのよさや大切さを感じられるようにしたい。また，日頃の自分の生活と重ね合わせて考え，「家族のために」から「みんなのために」と，発展させて考えられるようにしていきたい。

4 本時の学習

(1) ねらい

家族の役に立つ喜びを感じ、家族やみんなのために進んで働こうとする心情を育てる。

(2) 準備・資料

読み物資料、挿絵、道徳ポートフォリオノート、ワークシート

(3) 学習指導過程

過程	主な活動と発問	予想される児童の反応	指導上の留意点・評価
導入	1 みんなのためにしている仕事について話し合う。 ○ 学級ではどんな仕事をしていますか。また、仕事をしているとき、どんなことを思いますか。	・図書係。きれいに本を並べると気持ちがいいよ。 ・給食当番。こぼさないように配れるように頑張っているよ。 ・お掃除。教室がきれいになると気持ちがいいよ。	・日頃取り組んでいる学級の仕事を思い起こすことで、勤労について考えることへの糸口とする。 ・教材文の「家庭での仕事」から勤労全般について考えられるように、導入で学級の仕事に触れて板書に残しておく。
展開	2 教材「ぼくのしごと」を読んで話し合う。 ○ お母さんに「おふろそうじ、いっしょにやってみようか。」と言われたとき、「ぼく」はどんなことを思ったでしょうか。 ○ 「おそうじのプロ」とはどんな意味でしょうか。 ◎ 「やったあ」と喜んだ「ぼく」は、どんなことを考えていたでしょう。	・うまくできるかな。 ・やってみたいな。 ・頑張るぞ。 ・一人でも上手にできる。 ・とってもきれいに掃除をする。 ・誰よりもうまくなる。 ・もうお母さんに教えてもらわなくてもいい。 ・家族が喜んでくれてうれしい。 ・お風呂掃除が僕の仕事になってうれしい。 ・頑張ってよかったな。 ・これからもお風呂をぴかぴかにするぞ。	・導入の発言や、日頃の児童の活動の様子から、指名して発言を引き出すようにする。 ・仕事ができるようになった喜びが自信となり自分の成長につながっていることに気づけるようにする。 ・ワークシートに、ぼくが考えたことを書くことで、自分の考えを深められるようにする。 ・自分事として捉えることで、道徳的価値を基に自己を見つめるようにする。
終末	3 自分の生活を思い起こして、ノートに記入し、話し合う。 ○ 仕事をしてよかったな、と思ったのはどんなときですか。また、これからどのように仕事をしたいですか。 4 今日の授業を振り返る。 ○ 道徳ノートの振り返り欄に記入する。	・図書係で本をきれいに並べたら、友達が「本を選びやすいね。」と言ってくれたとき。 ・給食当番で、友達が「ありがとう」と言ってくれたとき。 ・みんなのために係の仕事を頑張りたい。 ・教室がきれいになると、自分もみんなも気持ちがいいから、頑張る。	◎ 自分の経験を振り返って、働くことのよさを考えている。 (発言、ノート) ・「振り返り欄」の記入項目 ①進んで発言や発表ができたこと。 ②友達の意見を聞いて良いところを見つけられたこと。 ③「自分ならどうするか」と一生懸命考えたこと。

なまえ

*「やったあ」とよろこんだ「ぼく」は、
どんなことをかんがえていたでしょう。

